

serial#	海外/国内	論文種別	Authors	論文名	雑誌名	年	ページ	研究デザイン	サンプル数	平均年齢 or 年齢幅	明らかになったこと(FVS関連で)
1	海外	原著	Fuhr P, Holmes L, Fletcher D, Swanson M, Kuyk T.	The AMA Guides functional vision score is a better predictor of vision-targeted quality of life than traditional measures of visual acuity or visual field extent	Visual Impairment Research	2003	5:137-146	ケースシリーズ	200	70.9	FVSは視力や視野単独よりも視覚関連QOL(VFQ25)に相関する( $r=0.61(p<0.001)$ ).平均視力( $r=0.46$ )、平均視野(良い眼の最も広い直径) ( $r=0.45$ )及びFAS( $r=0.50$ )、FFS( $r=0.51$ )よりも高い。
2	海外	原著	Fuhr P.	Software for calculating functional vision score.	Visual Impairment Research	2003	5:147-55	NA	NA	NA	FVSを計算するソフトウェアを開発した。
3	海外	原著	remmings KJ, nuygen PL, Orten DJ, Wagenaar M, van Aarem A, Kremer H, Kimberling WJ, Cremers CW, Deutman AF	Evaluation of visual impairment in Usher syndrome 1b and Usher syndrome 2a.	Acta Ophthalmol Scand.	2004	82:131-9	ケースシリーズ	59	19-45	Usher 症候群(1bと2a型)においてFAS, FFS, FVSは年0.7-1.5%程度悪化していた。
4	海外	原著	Langelaan M, Wouters B, Moll AC, et al.	Intra- and inter-rater agreement and reliability of the Functional Field Score.	Ophthalmic Physiol Opt.	2005	25:136-42	ケースシリーズ	62	41.8	FFSのICCs > 0.98で高い。
5	海外	原著	Langelaan M, Wouters B, Moll AC, et al.	Functional field score: the effect of using a Goldmann V-4e isopter instead of a Goldmann III-4e isopter.	Invest Ophthalmol Vis Sci.	2006	47:1817-23	ケースシリーズ	58	40.1	FFS(V-4e)はFFS(III-4e)より14 points高いが補正式で修正可能。
6	海外	原著	RJ, Huygen PL, Sankila EM, Tuppurainen K, Kleemola L, Cremers CW, Deutman AF.	Visual impairment in Finnish Usher syndrome type III.	Acta Ophthalmol Scand.	2006	84:36-41	ケースシリーズ	28	10-50	Usher 症候群(III型)の年間悪化率はFAS1.3%、FFS1.4%、FVS 1.8%であった。
7	海外	原著	Somani S, Brent MH, Mai	Visual field expansion in patients with retinitis pigmentosa	Canadian J Ophthalmol.	2006	41:27-33	ケースシリーズ	16	46	視野10度以内のRP患者に眼鏡貼り付け型プリズム装用(1M)でFFS拡大(23→27)。
8	海外	原著	Hahn BJ,Shin YW, Shim EJ,Jeon HJ,H Chung H,Yu HG	Depression and the vision-related quality of life in patients with retinitis pigmentosa.	British Journal of Ophthalmology	2008	92:650-654	ケースシリーズ	144	38.5	RP患者において、うつスケールであるBeck Depression Inventory (BDI)とFVSに関連は無かった。
9	海外	原著	Seo JH, Yu HG, Lee BJ.	Assessment of functional vision score and vision-specific quality of life in individuals with retinitis pigmentosa.	Korean J Ophthalmol.	2009	23:164-8	ケースシリーズ	108	37.6	1. RP患者のFVS平均値は21.3. 2. 視覚関連QOLとFVS( $r=0.58$ ),FFS( $r=0.44$ ),FAS( $r=0.60$ )と相関する( $P<0.001$ ).
10	海外	総説	Colenbrander A	The FUNCTIONAL VISION SCORE - A Coordinated Scoring System for Visual Impairments, Disabilities and Handicaps	IOS Press, Amsterdam. Kooiman AC, Looijestijn	1994	552 - 561	総説	NA	NA	
11	海外	総説	Colenbrandear A	Aspects of vision loss – visual functions and functional vision	Visual Impairment Research	2003	5:115-136	総説	NA	NA	

12	海外	総説	Colenbrander A	The Visual system. Guides to the Evaluation of Permanent Impairment, 6th ed.	AMA	2008	281-391	総説	NA	NA	
13	海外	総説	Colenbrander A	Visual standards –aspects and ranges of vision loss.	ICOwebsite	2008		総説	NA	NA	
14	海外	総説	Colenbrander A	Assessment of functional vision and its rehabilitation.	Acta Ophthalmol	2010	88:163-173	総説	NA	NA	
15	国内	原著	宇田川さち子、忍田 栄紀、松本行弘	緑内障患者のAmerican Medical Association Functional Vision Scoreによる機能的視覚評価	眼科臨床紀要	2010	3:5 435-438	ケース シリーズ	15	64.1	1.緑内障患者15例FVS平均値72.8. 2.VFSとMD(r=0.85),VFSとVFI(r=0.87)は有意に相関した(P<0.001).
16	国内	原著	Yanagisawa M, Kato S, Kunimatsu S, Tamura M, Ochiai M	Relationship between vision-related quality of life in Japanese patients and methods for evaluating visual field.	Japanese Jourunal of Ophthalmology	2011	55:132-7	ケース シリーズ	50	61.4	VFQ25とV4eで計算したFFSIに有意な関連はなかった.
17	国内	原著	加茂純子、原田亮、宇田川さち子、松本行弘、仲泊聡	American Medical AssociationのVisual Field ScoreのHumphrey視野計のカスタムプログラムによる静的視野とGoldmann視野の結果の比較の試行	臨床眼科	2011	65: 1243-1249	ケース シリーズ	44	66.7	HumphreyカスタムプログラムColenbranderグリッドテストとGoldmannIII4/eで測定したスコアはよく相関し、FVSでr=0.97、VFSでr=0.92、FFSでr=0.93であった。測定時間は両眼で約13分であった。
18	国内	原著	原田亮、加茂純子	日本人正常者のGoldmann視野計III4eの測定結果でFunctional Field Score(FFS)が100になるか?	日本ロービジョン学会誌	2012	11:102-107	ケース シリーズ	19	41.5	正常者のGoldmann視野でFFSを計算した。(①III-4eの実測と②V-4eとI-4eの平均からの推測III-4e)。FFSの平均値は①102、②もほぼ100。Colenbranderシートは有用。
19	国内	原著	加茂純子、原田亮、杉浦寛男、仲泊聡、平塚義宗、松本長太、宇田川さち子、松本行弘	Colenbrander, Estermanグリッドと日本の身障者視野判定の比較	眼科臨床紀要	2012	5:315-321	ケース シリーズ	100	66.5	Estermanグリッド(EG)は半径7度以内に刺激点がないためにColenbranderグリッド(CG)でカウントする点のうち最大42点をカウントできない。そのため傍中心暗点や同名、異名半盲が十分評価されない。(こちらが先で上はこのまま日本ロービジョン学会誌に掲載されました。)
20	国内	原著	加茂純子、原田亮、仲泊聡、松本長太、宇田川さち子、松本行弘	Functional Field Score (FFS)とFunctional Vision Score (FVS)から見た同名半盲と輪状暗点のある緑内障	日本ロービジョン学会誌	2012	12:69-74	ケース シリーズ	19	73	同名半盲と輪状暗点のFFSはほぼ同等(46,45)でも身障者基準では、同名半盲5級、輪状暗点2級となり、日本の法律は輪状暗点に有利。同名半盲も評価されるべき。
21	国内	原著	瀬戸寛子、大島裕司、松田由里、手島由貴、村上美智子、堀江宏一郎、関正佳、石橋達朗	我が国の視覚障害者等級と米国推奨基準Functional Vision Scoreとの比較検討	日本視能訓練士協会誌	2012	41: 163-169	ケース シリーズ	42	53.4	日本の身体障害者等級とFVSには有意な相関がある(r=0.47, p=0.001)。日本の制度は求心性視野障害に重きをおいている。
22	国内	原著	加茂純子、原田亮、松本行弘	緑内障のある運転手のBinocular Esterman Score対 Functional Field ScoreのThe 25-item National Eye Institute Visual Function Questionnaireへの関連	日本ロービジョン学会誌	2013	13:11-15	ケース シリーズ	72	66.1	緑内障のある運転手(視力0.7以上)でVFQ25とBinocular Esterman ScoreとFFSとの相関を調べた。どちらも総合得点、下位尺度に弱い正の相関あり、周辺視野を測るのによい。
23	国内	原著	原田亮、加茂純子、瀬戸寛子、大島裕司	Colenbrander グリッドスコアの右左合成両眼と両眼開放、FFSの関係	臨床眼科	2014	68:1161-1166	ケース シリーズ	36	70.6	1. 左右眼を合成したVFSouと両眼開放で測定したbinocularVFS(bVFS)間に有意差なし。 2. FFSは前2者と比べて低値となったが、片眼の欠損を無視しないためである。

24	国内	原著	村上美紀	就労年齢におけるFVSとロービジョンケア	眼科臨床紀要	2014	7,934-940	ケースシリーズ	40	NA	1.クラス2(中等度視覚喪失)以上のものは自動車運転を自発的に中止したり、制限(夜間や知らないところの運転をしない)していた。 2.クラス4(完全視覚喪失)では白杖歩行訓練を受けていた。 3.クラス2までのものは単独歩行可能、それ以上は不可能。 4.読字に関し就労人はクラス2でも拡大鏡を使用していた、 1.FVSの値1級4、2級17、3級33、4級40、5級51、6級58 2.3級と4級で逆転。 3.5級もFVSではFFS12(重度の障害)の症例あり。 4.視力より視野の相関が低い。 5.日本の判定基準は、視野、特に求心性視野狭窄の判定方法に問題が あり、相関は両眼の視野を平均した値で、両眼1眼の視野の相関は障害より
25	国内	原著	南稔浩、戸成匡宏、中村桂子、濱村美恵子、稲泉令巳子、清水みはる、筒井亜由美、阿部史絵、真野清佳、松清、菅澤淳、池田恒彦	日本の身体障害者認定基準の問題点	日本視能訓練士協会誌	2014	vol.43 219-226	ケースシリーズ	150	67.7	韓国ではFVSを自国用に改変して運用している。 オプションは米国よりも細かく定められ、流涙や眼瞼の異常などでもスコアが変化する。
26	国内	原著	加茂純子	視覚のインペアメントをスコア化できる米国と韓国の制度から日本の制度を考える	日本ロービジョン学会誌	2015	15:35-41	NA	NA	NA	韓国ではFVSを自国用に改変して運用している。 オプションは米国よりも細かく定められ、流涙や眼瞼の異常などでもスコアが変化する。
27	国内	原著	村上美紀、小畑泰子、大和浩、近藤寛之	就労年齢における緑内障患者の視機能評価	Journal of UOEH (University of Occupation)	2015	37,217-222	ケースシリーズ	501	NA	緑内障患者のうちFVSのclass1(軽度視覚喪失)以上の視機能喪失を伴うものの割合は13.0%。
28	国内	原著	鶴岡三恵子、加茂純子、井上賢治	視覚の身体障害者認定基準では評価が難しい症例についてのFunctional Vision Scoreでの評価	眼科臨床紀要	2015	8:885-890	ケースシリーズ	3	40	視覚障害の身体障害者手帳に該当しない3例のFVS評価。平均FVS=68.8。 FVSでは患者の不自由さを評価できる可能性が示唆された。
29	国内	原著	加茂純子、原田亮、瀬戸寛子、大島裕司	両眼開放のVisual Field ScoreとFunctional Field ScoreのいずれがNational Eye Institute Visual Functioning Questionnaire 25(VFQ25)とより関連するか？	あたらしい眼科	2016	33:461-466	ケースシリーズ	32	71	両眼開放(b)VFSとFFSはいずれもVFQ25に有意に相関した。 有意差はないが片眼の欠損を無視しないFFSのほうがbVFSより若干よい相関であった。
30	国内	原著	鶴岡三恵子、永野雅子、井上賢治	先天無虹彩の1症例におけるFunctional Vision Score評価	臨床眼科	2016	70:367-372	ケースレポート	1	13	FVS=79.5。学校にFVSの結果を報告し、障害について理解を得る。
31	国内	原著	原田亮、加茂純子、安山周平、金山佐保	ロービジョン外来・視覚リハビリ外来を振り返って -Functional Acuity Score(FAS), Functional Field Score(FFS), Functional Vision Score(FVS)の観点から-	日本ロービジョン学会誌	2017	17:28-33	ケースシリーズ	93	71.8	FAS、FFSとが低いより重度高いケアが必要とされていた。FVSは必要なロービジョンケア選定に有用。
32	国内	原著	鶴岡三恵子、加茂純子、井上賢治	自動車運転について相談があった視覚障害の身体障害者手帳の該当がない3症例のFunctional Vision Scoreでの評価	臨床眼科	2017	71:1423-1433	ケースシリーズ	3	52.6	GPとEsternan視野で計算した2種類のFVSで運転免許の資格適正について検討。平均FVS=66.5。運転の不自由さは、FVSや英国の視野規定では実勢に即して評価できる可能性が示唆され、中心暗点の症例ではFVSでより正確に評価できた。
33	国内	原著	村上美紀、井上久美、山本久美子、永渡皆美、近藤寛之	産業医科大学における小児のロービジョンケア：ロービジョン外来開設10か月の報告	眼科臨床紀要	2017	10:409-413	ケースシリーズ	12	5.2	ロービジョンケアを行った小児の症例12例の視機能評価をFVSにて行った。
34	国内	原著	Saimonra M, Tamashita T, Terasaki H, Sonoda S, Miyata K, Murakami Y, Ikeda Y, Morimoto T, Endo Y, Fujikado T, Kameda S, Sakamoto T	Quantitative analyses of factors related to anxiety and depression in patients with retinitis pigmentosa	PlosOne	2018	<a href="https://doi.org/10.1371/journal.pone.0195889">https://doi.org/10.1371/journal.pone.0195889</a>	ケースシリーズ	112	60.7	1. RP患者のFVS平均値は32.7。 2. FVSとHADS-A(不安のスケール)は関連なし。 3. FVSとHADS-D(抑うつスケール)には有意な関連あり(r=0.38, p<0.01)。
35	国内	原著	奥山亜紀子、平塚義宗、村上晶	網膜色素変性の経時的評価におけるFunctional Vision Scoreの有用性	眼科	2018	60:1393-1399	ケースシリーズ	150	50.5	1. RP患者のFVS平均値は36.7 2. 障害者等級とFVS間には中等度-強い正の相関あり(r=0.69, P<0.001). 3. 平均55.1か月の経過でFVSは53.3から41.4に低下(38例)。

36	国内	原著	村上美紀、奥一真、近藤寛之	自動車運転が課題となった脳梗塞後の半盲の1例	眼科臨床紀要	2018	11:916-920	ケースリポート	1	70	FVSのクラスは、発症直後、5か月後の時点、いずれもクラス1(軽度視覚喪失)。本人の訴えとFVSのクラス分類によるADLの見積もりは合致していた。
37	国内	原著	村上美紀、近藤寛之	高校での学習支援が得られた禿体錐体ジストロフィーの1例～視機能と情報提供～	眼科臨床紀要	2018	12:54-58	ケースリポート	1	15	FASは89点、FFSは43点、FVS38点でAMAのクラスは3a。FVSを利用して視機能によるADLの見積もりが立てられていたことが、歩行や体育、情報などの教科での状態整理に有用であり個別の指導計画の必要性が認められた。
38	国内	原著	村上美紀、近藤寛之	X染色体若年網膜分離症患者におけるFunctional Vision Score	眼科臨床紀要	2018	11:381-385	ケースシリーズ	9	8.56	1.ALKRSではFVSはクラス1～2(軽度～中等度視覚喪失)にのついで(例中6例)(2例は低年齢のため視野の計測ができなかった)。 2.クラス1～2との境界に近い症例が5例あった。 3.網膜剥離が進行し、手術加療したものではクラス3aになった症例があり、弱視学級で学習支援を受けていた。
39	国内	原著	鶴岡三恵子、加茂純子、永野雅子、井上賢治	脈絡膜欠損の1症例におけるFunctional Vision Score評価	臨床眼科	2018	72:1435-1441	ケースリポート	1	14	FVSをGPとHFのカスタムプログラムColenbranderテスト(CT)結果と比較。 FVS=57。GPとCTいずれの方法でもAMAの判定は同じで、HFによるFVS判定の有効性が示唆された。
40	国内	原著	加茂純子、原田亮	身体障害者認定基準案によれば2級となる可能性のある5級の糖尿病網膜症症例	臨床眼科	2018	72:1405-1411	ケースリポート	1	73	新たな身体障害者認定基準改訂案では従来の5級該当者が2級となり、FVSによる評価に近くなる可能性。
41	国内	原著	正条智広、岡真由美、野口菜摘、他	視能障害による自覚的歩行困難の評価方法についての検討	日本視能訓練士協会誌	2018	48:47-56	ケースシリーズ	82	62.6	自覚的歩行困難を評価する質問票の得点とFFS,FASは有意に関連した。
42	国内	原著	平塚義宗、加茂純子	Functional Vision Scoreに関する研究の現状	視覚の科学	2019	40:1-6	レビュー	NA	NA	国内外から52論文(原著35)。研究内容はFVSIに関する①関連指標測定妥当性の検証、②視機能評価、③その他の指標との関連評価であった。FVSは、①視機能評価に有用、②検者間/内信頼性が高い、③QOLとの関連が高い、④医療関係者以外の人に理解しやすい、⑤身体障害者基準などに利用しやすいなど示された。
43	国内	原著	村上美紀、近藤寛之	高校での学習支援が得られた禿体錐体ジストロフィーの1例～視機能と情報提供～	眼科臨床紀要	2019	12:54-58	ケースリポート	1	15	FASは89点、FFSは43点、FVS38点でAMAのクラスは3a。FVSを利用して視機能によるADLの見積もりが立てられていたことが、歩行や体育、情報などの教科での状態整理に有用であり個別の指導計画の必要性が認められた。
44	国内	原著	小野峰子、鈴嶋よしみ	本邦におけるFunctional Vision ScoreとThe 25-item Natinal Eye Institute Visual Function Questionnaireとの関連	臨床眼科	2019	73:947-954	ケースシリーズ	176	63.1	FVSはNEI VFQ-25の「一般的健康感」「目の痛み」以外の9領域と総合得点と有意に関連し、特に「遠見視力による行動」と総合得点との関連が強かった。FVSは、FAS、FFSと比較し、最も多くの領域と強く関連していた。
45	国内	原著	村上美紀、石橋真吾、近藤寛之	FVS(Functional Vision Score)中心暗点ルール適応前後のFVSスコアとAMAクラス	眼科臨床紀要	2019	12:194-199	ケースシリーズ	NA	NA	黄斑中心部でGPのⅢ/4eインプターが見えない場合は視野の形にかかわらず中心暗点ルールの適応となる。
46	国内	原著	鶴岡三恵子、井上賢治、大音清香、他	井上眼科病院のロービジョン専門外来を受診した眼皮膚白子症の2例	眼科臨床紀要	2019	12:103-109	ケースシリーズ	2	20	眼皮膚白子症の視力評価はFVSが実態に即していた。手帳は視野のみ評価で患者の不自由さを妥当に反映しているとは言え難かった。
47	国内	原著	加茂純子、原田亮、赤木孝匡、瀧瀬康洋、金山佐保	自殺未遂後に目が開けられなくなった症例	日本ロービジョン学会誌	2019	19:104-108	ケースリポート	1	20	眼球使用困難症候群は身体障害者基準からは外れるが、FVSで評価すると「極度の視覚消失」に分類可能であった。

48	国内	原著	鶴岡三恵子、井上賢治	旧基準では視覚障害の身体障害者手帳の申請が却下となった2例のFunctional Vision Score評価	臨床眼科	2019	73:1281-1289	ケースシリーズ	2	50代	旧基準で手帳が却下決定となった2例は、新基準では2例とも視野障害5級に該当した。FVSでは症例1のみがWHOのLow Visionの範囲に該当した。
49	国内	原著	山口 亜矢、渡辺 綾子、佐藤 智美、長谷川 哲也、他	ロービジョン外来受診者における、視覚の身体障害者手帳非該当者の特徴	日本ロービジョン学会誌	2019	18:130-134	ケースシリーズ	74	67.2	身体障害者基準に満たない患者のFVSの評価では29%が重度視覚喪失に該当した。
50	国内	原著	斉之平真弓、山下孝明、寺崎寛人、他	網膜色素変性患者における視機能評価とquality of lifeの関係	日本眼科学会雑誌	2020	124:63-69	ケースシリーズ	112	60.7	RP患者においてBCVA,FAS,FFS,FVSとQOLに相関あり、QOLの良い視標となる。視力良好眼においては限界あり。
51	国内	原著	村上美紀、斉之平真弓、近藤寛之	改変法によるFunctional Vision Score算出の有用性の検討	眼科臨床紀要	2020	13:318-323	ケースシリーズ	18	37.8	初学者がFVSを学ぶ際にはFFSの算出時、Colenbrander gridの「見える点を数える」方法(改変法)が理解しやすかった。
52	国内	原著	鶴岡三恵子、井上賢治	オカルト黄斑ジストロフィの2症例における新基準の視覚障害者手帳判定とFunctional Vision Scoreの評価	臨床眼科	2020	74:1045-1052	ケースシリーズ	2	21/74	オカルト黄斑ジストロフィの視力評価は手帳よりFVSが実態に即していた。視野評価はいずれも評価が難しかった。
53	国内	原著	原田亮、加茂純子	OCTOPUS 900視野計を用いた静的視野によるVisual Field Score,Functional F	臨床眼科	2020	74:1286-1295	ケースシリーズ	140	71	Octopus900視野計によって評価されたFFS, FVS は GPとほぼ同等。
54	国内	原著	中川 浩明、本田 聖奈、間瀬 智子、吉田 晃敏、柳 靖雄、石子 智士	視覚障害認定基準改正前後の等級とFunctional Vision Score	眼科	2020	62:795-800	ケースシリーズ	101	56.8	改正前後基準で評価した等級は、それぞれ FVSと強い相関を認めた( $r=0.83$ )。
55	国内	原著	山口 亜矢、渡辺 綾子、佐藤 智美、長谷川 哲也、他	4年以上5年未満の経過を追えた、網膜色素変性のFunctional Vision Score(FVS)	日本ロービジョン学会誌	2020	19:81-87	ケースシリーズ	11	56.4	RPの進行には個人差があるがFVSを使用することでその変化を継続的、客観的に評価可能であった。
56	国内	原著	小野 峰子、鈴嶋よしみ、陳 進志、他	ロービジョン者用日常生活活動評価指標「the low-vision-specific function and activities of daily living measure(LVFAM)」の開発	日本眼科学会雑誌	2020	124:783-793	ケースシリーズ	186	63.2	ロービジョン者用日常生活活動評価指標の作成過程にFFSを利用
57	国内	原著	加茂 純子、大坪 優太、藤田 大輔、他	病院、介護施設でリハビリ・介護を受ける患者の 視機能スクリーニングに要する時間	視覚リハビリ研	2020	9:29-34	ケースシリーズ	29	80	病棟、介護施設でもColenbrander1m 視力表と対座視野で6分で視力、視野スクリーニングでき、ロービジョン者を見つけることが可能
58	国内	原著	加茂純子、遠藤勝久、原田亮	Colenbrander-Endoh-Kamo Functional Vision Score計算シートの試行	日本ロービジョ	2020	20:57-61	ケースシリーズ	32	48	CEKシートで右左視野合成可能でFVS簡略に計算できる
59	国内	総説	山縣 祥隆	視野障害者の日常生活における能力障害の評価	日本眼科紀要	2007	58:269-273	総説	NA	NA	

60	国内	総説	加茂純子	身体障害認定における視覚障害評価 第1回 米国American Medical Association (AMA)が推奨する評価法と英国等のシステムについて。	日本の眼科	2011	82:2 165-167	総説	NA	NA	
61	国内	総説	加茂純子	身体障害認定における視覚障害評価 第2回 国際基準でありQuality of Life(QOL)との相関があるFunctional Vision Score (FVS)	日本の眼科	2011	82:4 463-467	総説	NA	NA	
62	国内	総説	加茂純子	身体障害認定における視覚障害評価 第3回 Visual Acuity Score (VAS)とVisual Field Score (VFS)の測定の実際	日本の眼科	2011	82:6 755-758	総説	NA	NA	
63	国内	総説	加茂純子	身体障害認定における視覚障害評価 第4回 WHOの障害定義の変遷、FVSとWhole Person Impairment(WPI:個人に対するインパクト)	日本の眼科	2011	82:8 1069- 1072	総説	NA	NA	
64	国内	総説	加茂純子	身体障害認定における視覚障害評価 第5回 自動視野計による評価にも対応しやすいFunctional Field Score(FFS)	日本の眼科	2011	82:10 1339- 1341	総説	NA	NA	
65	国内	総説	加茂純子	身体障害認定における視覚障害評価 第6回 ロービジョンケアへの連結、全国の視覚障害原因疾病統計に役立てる	日本の眼科	2011	82:12 1617- 1619	総説	NA	NA	
66	国内	総説	加茂純子	ロービジョンエイドとしてのデジタルデバイスの活用(視機能評価の道具としても)	眼科グラ フィック	2013	2:36-39	総説	NA	NA	
67	国内	総説	加茂純子	ロービジョンケアの実際 静的視野	専門医のため の眼科クオリ ファイ	2015	26:44- 47	総説	NA	NA	
68	国内	総説	加茂純子	ロービジョンケアの実際 視覚障害判定(欧米との違い)	専門医のため の眼科クオリ ファイ	2015	26:104- 109	総説	NA	NA	
69	国内	総説	加茂純子	線内障とロービジョンケアー欧米と比較してー	あたらしい眼 科	2015	32:1433 -1434	総説	NA	NA	
70	国内	総説	村上美紀	労働と交通眼科	OCULISTA	2017	40:67- 74	総説	NA	NA	
71	国内	総説	加茂純子	Functional Vision Scoreとその実践 2018年7月の身障規定改訂から落ちこぼれた患者様のために	眼科グラ フィック	2019	8:14- 719	総説	NA	NA	2018の身障規定改訂では谷間があること解説

72	国内	総説	加茂純子	福祉制度を知ろう 諸外国での身体障害者制度	OCULISTA	2019	77:90-92	総説	NA	NA	
73	国内	総説	加茂純子	小児、障害者の視力測定	みんなの眼科 検査メモ/兩江堂	2020	27-28	総説	NA	NA	Colenbranderロービジョン1m視力表
74	国内	総説	高橋広、村上美紀	中途視覚障害者への職域マネジメント	OCULISTA	2020	91:51-62	総説	NA	NA	「視覚障害者の就労支援マニュアル」において、会社側へ視覚障害者の医療情報を提供する際に、視機能評価ツールとしてFVSが有用である。ロービジョンケアに慣れていない眼科医でもFVSを使用することで非眼科関係者にも理解しやすい情報提供ができる。

---